

平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 ムトー精工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7927 URL <http://www.muto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 肇
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 金子 貞夫 (TEL) 058(371)1100
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 平成30年12月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	12,206	△7.0	544	△42.7	790	△16.2	479	△39.1
30年3月期第2四半期	13,123	9.4	951	—	942	—	787	—

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 754百万円(△27.9%) 30年3月期第2四半期 1,046百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	66.72	—
30年3月期第2四半期	109.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	23,629	12,634	50.4
30年3月期	23,316	12,067	48.9

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 11,913百万円 30年3月期 11,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00
31年3月期	—	8.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	9.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△3.2	900	△34.9	850	△24.8	600	△35.1	83.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	7,739,548株	30年3月期	7,739,548株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	552,784株	30年3月期	552,784株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	7,186,764株	30年3月期2Q	7,186,876株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の回復や設備投資の増加等により、企業業績の改善が進み、前連結累計期間と同様に緩やかな回復基調が続いております。

世界経済におきましては、アジアでは、中国を中心に個人消費が堅調に推移しました。米国では、堅調な企業業績や雇用情勢の改善、個人消費の増加などを背景に、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、米中を中心とした貿易摩擦や地政学的リスクなど、景気悪化の懸念も残っております。

当社を取り巻く業界において、自動車関連では、第1四半期連結累計期間と同様、全般的に新車の販売動向は減少傾向にあります。家電分野では、東南アジア方面の需要は堅調に推移しておりますが、国内販売は伸び悩んでおります。医療機器関連では、高齢化社会や健康志向の増加に伴う医療ニーズを背景に、全世界的に市場は拡大を続けております。

このような経済環境の中、当社グループにおきましては、付加価値の高い製品の受注と省力化に向けた生産体制の強化を図ってまいりましたが、取引先の受注減に伴い、主要なセグメントであるプラスチック成形事業で売上が減少いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は122億6百万円と前年同四半期と比べ9億1千7百万円(7.0%)の減収、営業利益は人件費をはじめとする固定費の高止まりにより5億4千4百万円と前年同四半期と比べ4億6百万円(42.7%)の減益、経常利益は為替差益が増加したものの7億9千万円と前年同四半期と比べ1億5千2百万円(16.2%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等の増加により4億7千9百万円と前年同四半期と比べ3億7百万円(39.1%)の減益となりました。

なお、平成30年8月21日に発生いたしました豊武光電(蘇州)有限公司における火災についてですが、特に大きな損害はなく、業績に与える影響は軽微でありました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、新工場稼働によりムトーテクノロジーハノイCO.,LTD.ではプリンター部品、ムトー(タイランド)CO.,LTD.では一眼レフカメラ部品の売上が増加しましたが、自動車部品やスマートフォン向けの電子ペンの売上は減少傾向にあります。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて110億4千5百万円と前年同四半期と比べ8億7千6百万円(7.4%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は5億1百万円と前年同四半期と比べ4億3千6百万円(46.5%)の減益となりました。

② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、デジタルカメラ関連市場は縮小傾向にあり、売上減少が続いておりますが、電子ペンや医療機器関連部品の売上は堅調に推移しました。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて10億2千6百万円と前年同四半期と比べ9千万円(8.1%)の減収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は9百万円と前年同四半期と比べ5百万円(147.1%)の増益となりました。

③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門では、複写機など民製品の設計業務が減少しましたが、パッケージ基板の設計業務で売上が大きく増加しました。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて1億7千3百万円と前年同四半期と比べ4千2百万円(32.1%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は3千3百万円と前年同四半期と比べ2千4百万円(286.7%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億7千万円減少し、152億1千7百万円となりました。現金及び預金が3億5百万円、商品及び製品が3億8百万円、その他(流動資産)が1億6千7百万円それぞれ減少し、受取手形及び売掛金が6億3千6百万円増加したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4億8千3百万円増加し、84億1千1百万円となりました。有形固定資産が4億5千1百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ3億1千2百万円増加し、236億2千9百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億8千3百万円減少し、71億1千8百万円となりました。短期借入金が7億7千万円減少し、1年内返済予定の長期借入金が1千5百万円、その他(流動負債)が3億6千万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2千9百万円増加し、38億7千5百万円となりました。繰延税金負債が9千3百万円増加し、長期借入金が7千3百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ2億5千4百万円減少し、109億9千4百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5億6千6百万円増加し、126億3千4百万円となりました。利益剰余金が2億9千2百万円、為替換算調整勘定が2億1千8百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、56億1千7百万円となり、前年同四半期と比べ3億8千万円(6.3%)減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益7億7千8百万円、非資金費用である減価償却費7億6千6百万円、たな卸資産の減少額2億6千6百万円及び売上債権の増加額4億5千2百万円などにより、営業活動全体として13億6千1百万円の収入となり、前年同四半期と比べ収入が5億5千2百万円(68.3%)の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産の取得による支出9億5千万円及び有価証券の純減額1億5千5百万円などにより、投資活動全体として7億6千9百万円の支出となり、前年同四半期と比べ支出が2千4百万円(3.2%)の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、短期借入金の純減額8億3千万円、配当金の支払額1億8千7百万円などにより、財務活動全体として10億8千5百万円の支出(前年同四半期は3億4千1百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の連結業績予想及び配当予想(期末)につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました「平成30年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありません。

なお、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,229,427	5,924,257
受取手形及び売掛金	4,430,420	5,066,799
電子記録債権	705,845	619,837
商品及び製品	1,023,736	715,009
仕掛品	685,250	852,759
原材料及び貯蔵品	1,583,245	1,503,795
未収入金	203,783	176,657
その他	527,460	359,572
貸倒引当金	△1,410	△1,430
流動資産合計	15,387,759	15,217,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,933,516	2,199,236
機械装置及び運搬具(純額)	3,066,975	3,091,360
土地	1,166,268	1,173,523
リース資産(純額)	14,361	12,611
建設仮勘定	249,679	311,587
その他(純額)	753,770	847,354
有形固定資産合計	7,184,572	7,635,674
無形固定資産	242,025	235,787
投資その他の資産		
投資有価証券	244,118	257,192
退職給付に係る資産	124,136	141,826
繰延税金資産	8,786	7,233
その他	127,836	136,917
貸倒引当金	△2,885	△2,885
投資その他の資産合計	501,992	540,285
固定資産合計	7,928,589	8,411,747
資産合計	23,316,349	23,629,005

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,474,712	2,501,889
短期借入金	2,585,000	1,815,000
1年内返済予定の長期借入金	1,253,262	1,268,266
未払法人税等	94,416	147,756
賞与引当金	208,681	239,291
その他	786,301	1,146,452
流動負債合計	7,402,373	7,118,656
固定負債		
長期借入金	3,278,148	3,204,280
繰延税金負債	195,925	289,707
役員退職慰労引当金	140,506	138,413
退職給付に係る負債	208,188	224,673
その他	23,315	18,688
固定負債合計	3,846,083	3,875,762
負債合計	11,248,456	10,994,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,246,096	2,246,168
利益剰余金	8,112,409	8,405,064
自己株式	△397,883	△397,883
株主資本合計	12,149,581	12,442,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,038	32,151
為替換算調整勘定	△779,211	△560,657
その他の包括利益累計額合計	△759,173	△528,505
非支配株主持分	677,484	720,783
純資産合計	12,067,893	12,634,587
負債純資産合計	23,316,349	23,629,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	13,123,636	12,206,448
売上原価	10,695,204	10,167,451
売上総利益	2,428,431	2,038,997
販売費及び一般管理費	1,477,365	1,494,361
営業利益	951,066	544,635
営業外収益		
受取利息	24,010	36,443
受取配当金	2,672	2,614
為替差益	—	218,445
その他	15,092	5,103
営業外収益合計	41,775	262,607
営業外費用		
支払利息	38,989	16,925
為替差損	11,427	—
その他	—	102
営業外費用合計	50,416	17,027
経常利益	942,424	790,215
特別利益		
固定資産売却益	6,498	4,702
特別利益合計	6,498	4,702
特別損失		
固定資産売却損	101	—
固定資産除却損	4,081	16,104
特別損失合計	4,182	16,104
税金等調整前四半期純利益	944,740	778,814
法人税等	125,554	237,824
四半期純利益	819,186	540,989
非支配株主に帰属する四半期純利益	31,883	61,478
親会社株主に帰属する四半期純利益	787,302	479,511

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	819,186	540,989
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,568	12,113
為替換算調整勘定	231,185	201,160
その他の包括利益合計	227,617	213,273
四半期包括利益	1,046,803	754,263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	986,278	710,179
非支配株主に係る四半期包括利益	60,525	44,084

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	944,740	778,814
減価償却費	745,060	766,800
有形固定資産除却損	4,081	16,104
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	20
賞与引当金の増減額(△は減少)	71,134	27,468
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,319	△2,093
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,882	10,982
受取利息及び受取配当金	△26,682	△39,057
支払利息	38,989	16,925
有形固定資産売却損益(△は益)	△6,397	△4,702
売上債権の増減額(△は増加)	△1,060,082	△452,578
たな卸資産の増減額(△は増加)	△469,056	266,570
仕入債務の増減額(△は減少)	583,706	△34,440
未払消費税等の増減額(△は減少)	53,159	10,716
その他	16,371	83,919
小計	908,226	1,445,448
利息及び配当金の受取額	26,684	39,034
利息の支払額	△40,231	△16,285
法人税等の支払額	△88,451	△108,168
法人税等の還付額	2,673	1,737
営業活動によるキャッシュ・フロー	808,901	1,361,765
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△275,086	△277,067
定期預金の払戻による収入	294,251	275,596
有価証券の純増減額(△は増加)	△296,178	155,089
有形固定資産の取得による支出	△471,324	△950,917
有形固定資産の売却による収入	9,321	7,924
無形固定資産の取得による支出	△4,917	△8,427
投資有価証券の取得による支出	△613	—
その他	△455	28,740
投資活動によるキャッシュ・フロー	△745,003	△769,060
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,297,700	△830,000
長期借入れによる収入	2,300,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△657,845	△658,864
自己株式の取得による支出	△78	—
子会社の自己株式の取得による支出	—	△713
配当金の支払額	△119	△187,091
その他	△2,776	△8,489
財務活動によるキャッシュ・フロー	341,479	△1,085,158
現金及び現金同等物に係る換算差額	63,847	186,086
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	469,225	△306,367
現金及び現金同等物の期首残高	5,527,985	5,923,531
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,997,210	5,617,164

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,915,450	1,081,235	126,950	13,123,636	—	13,123,636
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,146	35,805	4,437	47,388	△47,388	—
計	11,922,596	1,117,041	131,387	13,171,024	△47,388	13,123,636
セグメント利益	938,614	3,784	8,667	951,066	—	951,066

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,030,490	1,002,371	173,586	12,206,448	—	12,206,448
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,389	24,452	—	39,842	△39,842	—
計	11,045,880	1,026,824	173,586	12,246,290	△39,842	12,206,448
セグメント利益	501,765	9,349	33,520	544,635	—	544,635

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。